

修士論文

徳永研究室修士2年の二人が修士論文を執筆し、無事に審査を合格しました。

Wu Zhisheng君の論文は、「Development of Thermoelectric Measurements in Pulsed Magnetic Fields and its Application to Tellurium and Bismuth」という題目で、約35 Tの磁場までのゼーベック/ネルンスト効果の測定を実現し、そのシステムを用いてビスマスとテルルの磁場中熱電特性を評価しています。

山口侑真君は「 $\text{Bi}_{1-x}\text{Sb}_x$ の強磁場誘起相転移に関する研究」という題目の論文を執筆し、半金属状態にある $\text{Bi}_{1-x}\text{Sb}_x$ 合金が強磁場下で示す絶縁化の振る舞いについて系統的に実験を行い、多体効果による相転移という観点から議論を行いました。

Wu君は博士課程に進学、山口君は民間企業に就職します。それぞれの今後のさらなる活躍を期待しています。